

# Baby Krishna

ベイビークリシュナ

高岡茂監督作品

CAST

加藤賢崇

SUNJAY DHYAKO

藤田はな子

伊藤猛

螢雪次郎

利重剛

原哲男

磨赤兒

彼は台風のように去っていった。

SEE  
YOU  
NEXT  
LIFE

それは交通事故から始まった！

佐々木は京都の大学で考古学を研究し遺跡の発掘をしているが、いつのまにか老成してしまいい人と出会うことに億劫になっていた。12年ぶりの高校の同窓会の帰り、佐々木と元ガールフレンドのエリの車が自転車に乗ったアジア系外国人をはねるが、男は警察沙汰になるのをいやがって立ち去ってしまった。

数日後、佐々木は同僚の古田と繁華街を歩いていると、あのアジア系外国人が路上で物売りをしているのに偶然出くわす。彼はネパールのボカラから来たクリシュナといい、ネパールで知り合った日本人女性をたよりに京都に来たものの、彼女は冷淡で彼を避け、滞在費を稼ぐため路上で物売りをしていた。佐々木は事故で怪我をさせた責任感から彼に名刺を渡す。やがて行き場を失ったクリシュナは名刺をたよりに佐々木の宿に居候し二人のちぐはぐでおかしな同居生活が始まり、クリシュナの天真爛漫なふるまいに佐々木のかたくなになつていった心も、しだいに解放されていく。

この道は、どこへ行きますか？

# Baby Krishna

高岡茂監督作品

バイビークリシュナ

1998年度/87分/スタンダード/35ミリカラー作品 第11回シンガポール国際映画祭正式出品

CAST  
佐々木/加藤賢崇  
クリシュナ/SUNJAY DHYAKO

ケイコ/藤田はな子  
古田/伊藤猛  
エリ/新井令子  
スシル/SUSHIL SHAKYA  
ナオミ/山本カナコ  
ホテル支配人/伊沢勉  
考古学マニア/武田一度  
教授/蟹雪次郎  
ユキ/利重剛  
恩師/原哲男  
ケイコの父/鷹赤兒



この映画はネパール版「前略おふくろ様」か、「アジアンビート」第7話である(林海象/映画監督)  
切ないドラマかなーと思いきや、ほほほとクスンクスンと笑ったし、しかし細部が妙にリアルで生々しく監督の「きれいにまとめたままか」という感じが感じられた。そこがすばらしい。クリシュナは本当にモテそうた(吉本はなな/作家)  
日本人とネパール人との「異文化交流映画」にとどまらず、人間同士の出会いの深度を問うもつと大きな骨格と広がりを持った作品だ。(江利川憲/映画新聞スタッフ)  
「バイビークリシュナ」の主人公サンシエはネパールだけでなく、私の傍にもいる。放蕩三昧、青空だけを瞳に結晶させたばかりの屋敷、神の申し児、定住ではない移民の民の(旅)そのものを生きている。アイツのことだ。(松本雄吉/維新派)



「バイビークリシュナ」は高岡茂の独自のネットワークによってスタッフ・キャストを集め、バイオレンスや不倫愛、サイコホラーなど最新の映画の傾向に背を向け個と個の出会いをシンプルに描いた作品であり、物語は多くの女性から愛されたヒンドウの神様であるクリシュナ神話から着想した。  
キャストには、黒沢清監督「ドレミファ娘の血は騒ぐ」でデビューし、映画、演劇、音楽、司会、イラスト、パソコンやCM等マルチな活躍を展開する加藤賢崇、カトマツズに在任で私生活もガールバンドが趣味のフレイボーイ・サンジエイ、舞踏家で俳優としても活躍中の慶赤兒、映画監督でもある個性派俳優利重剛、吉本新喜劇往年の喜劇役者・原哲男、病漢電車シリーズやTVドラマにも数多く出演している蟹雪次郎、瀬々敬久監督「雷魚」や内田栄監督「さらしやないよ」等の俳優・伊藤猛、山本政治監督「てなもんやコネクション」で大阪のノーテンキ娘クミを演じた新井令子、オーディションで選ばれた新人、藤田はな子、また演劇界からは、犯罪友の会の武田一度、遊劇体のキタモトマツ子、プロジェクトナビの伊沢勉、新感線の山本カナコ、維新派の平野舞、草壁カゲローら関西の濃い劇団の役者が脇を固めている。

1958年宝塚生まれの監督・高岡茂は早稲田大学在学中より8ミリ映画を撮り、その後、大阪で立原啓裕主演の16ミリ「こわされた夏の幻」を監督  
85年スタジオ・デルタ開設以降は小川プロ「1000年刻みの日時計」の上映館千年シアターの建築制作や山本政治監督の「てなもんやコネクション」の大阪ロケ制作担当、また、スベクタクルな野外劇でお馴染みの劇団維新派のプロデュース等、製作的な活動も多い。

●監督・脚本/高岡茂 ●脚本/大田和司 ●原案/飛来はゆく ●助監督/斎藤博士 ●撮影/浅井竜雄、朝倉義人 ●照明/岸田和也 ●録音/山口勉 ●美術/瀬見俊裕、花谷秀文 ●音楽/ACHYUT RAM BHANDARI [tabla], PETER LAI [keyboard] ●宣伝美術/東 学[Az] ●宣伝協力/維新派 ●制作/カトウタイン ●製作協力/ツインズ、りあるたいむ ●製作・配給/スタジオ・デルタ

BABY KRISHNAの情報は、加藤賢崇のホームページ <http://www.hi-ho.ne.jp/kenso> にて紹介しています。メールアドレスは [kenso@hi-ho.ne.jp](mailto:kenso@hi-ho.ne.jp)



5.30 SAT [土] ▶ 6.19 [金] レイトショー

●特別鑑賞券1,300円絶対発売中!(当日1,500円均一のところ) PM9:10より一回上映  
劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットゾン、チケットぴあにてお求めください。

5.21[木]新宿ロフトプラスワンにて19:00より監督と加藤賢崇のトークライブ決定! [お問い合わせ:スタジオデルタ 03-3487-8994]



シネ・アムーズは新しい作家を応援しています。

渋谷・文化村通り東急本店前フォンティスビル4F TEL.03-3496-2888  
●当劇場では、場内での飲食はお断りしております。  
●自由席/お立ち見および上映開始後の入場はできません。